

福井ふるさと学びの森 奥越エリア 第3回体験イベント
六呂師高原ものがたり ◇「湿原の賑わいーミスチドリとトンボたちー」

- 1 日時：平成27年7月5日（日）
 午前の部 10：00～12：00
 午後の部 13：30～15：30
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（勝山市 池ヶ原湿原）
- 3 参加者：午前の部 9人（大人7、子ども2）
 午後の部 4人（大人4）
- 4 講師：井部さん、矢村さん（ともに自然観察指導員の会）
- 5 内容：（午前午後とも同じプログラム）



- ・湿原を散策しながら、ミスチドリや湿原に生息する生きものについてのお話
2班に分かれてゆっくり散策しました（午前、午後とも同じプログラム）
 - ・本日のメインテーマである「ミスチドリ」が今はまさに満開の時期！
名前のとおり小さな鳥が千羽もあつまったような、綺麗な花を咲かせていました。
とても貴重な花で福井県ではここでしか見られないとのこと
 - ・講師の先生からミスチドリについて、群生状況、生育条件、オカトラノオとの違いなど、詳しい説明がありました。
 - ・また、湿原いっぱいには生育してしまう葎についても、生育環境や葎刈りが他の植物にどういった影響を与えるのかという説明もありました。
 - ・途中、少し高いところから全体観察（池ヶ原湿原ができた経緯、湿原の歴史、湿原のできる条件などの説明）を行ないました。ちなみに観察した場所はおよそ634m地点ということで、スカイツリーと同じ高さ！でした。
 - ・その他、湿原を散策しながら、食虫植物（モウセンゴケ、イヌタヌキモ）、触ると危険な植物（ヌルデ、ヤマウルシ）、モリアオガエルの卵などを観察しました。
 - ・本日、途中で見つけた湿原の草花は以下のとおりです。
カキラン、レンゲツツジ、コバギボウシ、ノカンゾウ、メタカラコウなど
 - ・残念ながら、本日のもう1つのメインテーマの「トンボ」はまったく見かけませんでした。
時期が早かったのでしょうか？
 - ・代わりと言ってはなんですが、別のグループでは野生のシカやイノシシを見ることができたらしいですよ。（もちろん予定外です）
- 6 イベント全体を通して
- ・当日朝まで雨がふり、心配しましたが、開催前にはなんとか雨があがりました。
参加された皆様は初めての池ヶ原湿原で貴重な植物が多く生息していることを実感できたようでした。また、植物を観察するだけでなく、湿原と人の関わりについてもわかりやすく説明があり、湿原を適切に管理する必要性についても学ぶ機会となったようです。

※ちなみに当日の様子は「県政広報ふくい8月9日号」に掲載される予定です。



ミスチドリ



モウセンゴケ観察中



湿原全体を観察